

いのちと健康を守る

統一行動



「昼休み」使用厳禁!?

現場に混乱持ち込むな

申告指導等の時間について、庁や局は「開始時間前及び午前中の終了時に案内板・口頭により周知、午後の開始時間の案内板は、原則として正午以降に掲出する」という指示をしています。これでは、とても職員が一斉に昼休みに入れる周知にはなりません。

庁・局は、「昼休み時間帯も納税者は来るので、申告会場は利用できません」との周知文が、

「申告指導等の時間について、庁や局は「開始時間前及び午前中の終了時に案内板・口頭により周知、午後の開始時間の案内板は、原則として正午以降に掲出する」という指示をしています。これでは、とても職員が一斉に昼休みに入れる周知にはなりません。」

「申告指導等の時間について、庁や局は「開始時間前及び午前中の終了時に案内板・口頭により周知、午後の開始時間の案内板は、原則として正午以降に掲出する」という指示をしています。これでは、とても職員が一斉に昼休みに入れる周知にはなりません。」

「申告指導等の時間について、庁や局は「開始時間前及び午前中の終了時に案内板・口頭により周知、午後の開始時間の案内板は、原則として正午以降に掲出する」という指示をしています。これでは、とても職員が一斉に昼休みに入れる周知にはなりません。」

「申告指導等の時間について、庁や局は「開始時間前及び午前中の終了時に案内板・口頭により周知、午後の開始時間の案内板は、原則として正午以降に掲出する」という指示をしています。これでは、とても職員が一斉に昼休みに入れる周知にはなりません。」

「地獄の確申期」職員の死亡も出ている

めまいで倒れ、書庫から這いでて即入院、腰痛に耐え切れず救急車で運ばれる、收受担当中に突然脳梗塞に襲われ入院。ついには3月12日も膜下出血で倒れ、3月15日に亡くなる事態が起きました。「一歩間違えば死と隣り合わせ、明日はわが身」と、従事した誰もが感じている「地獄の確申期」-しかし、当局は「自ら心身両面にわたる健康管理に十分留意するよう喚起するだけ、職員が気兼ねなく休憩できる体制も不十分なまま、現場に立ちっ放しの「巡回指導」を押し付けています。

全庁的にまともな健康対策もとられない中、「一人の死亡者、病人も出さない」事務運営への転換を求め、職場世論を背景に、「地獄の確申期」に歯止めをかけていきます。

「申告会場は『記載場所の提供』であり、フンポイントアドバイスする場」であり「ハイカウンタ」を活用した巡回指導中心の集合指導とのシバリがかかっています。昨年、急増した超勤について、「指導会場の状況、指導担当者的人数、内部事務の進行状況等を考慮して削減する」「水曜日の超勤は行なわない」との方向が示されています。

「申告会場は『記載場所の提供』であり、フンポイントアドバイスする場」であり「ハイカウンタ」を活用した巡回指導中心の集合指導とのシバリがかかっています。昨年、急増した超勤について、「指導会場の状況、指導担当者的人数、内部事務の進行状況等を考慮して削減する」「水曜日の超勤は行なわない」との方向が示されています。

「申告会場は『記載場所の提供』であり、フンポイントアドバイスする場」であり「ハイカウンタ」を活用した巡回指導中心の集合指導とのシバリがかかっています。昨年、急増した超勤について、「指導会場の状況、指導担当者的人数、内部事務の進行状況等を考慮して削減する」「水曜日の超勤は行なわない」との方向が示されています。

「申告会場は『記載場所の提供』であり、フンポイントアドバイスする場」であり「ハイカウンタ」を活用した巡回指導中心の集合指導とのシバリがかかっています。昨年、急増した超勤について、「指導会場の状況、指導担当者的人数、内部事務の進行状況等を考慮して削減する」「水曜日の超勤は行なわない」との方向が示されています。

全国税

発行所 東京都千代田区霞ヶ関 財務ビル内(〒100-0013) 全国税労働組合 発行人 岡田 俊明 電話(03)3581-3678 FAX(03)3507-0886 振替口座 00140-2-68514

「税務の職場」何でも110番

zenkokuzei@aol.com

全国税は、職場で起こった問題を解決するため「税務の職場、何でも110番」を常時設置しています(電話とFAXは上記の番号までどうぞ)。

全国税ホームページ http://www.kokko-net.org/zenkokuzei

「申告会場は『記載場所の提供』であり、フンポイントアドバイスする場」であり「ハイカウンタ」を活用した巡回指導中心の集合指導とのシバリがかかっています。昨年、急増した超勤について、「指導会場の状況、指導担当者的人数、内部事務の進行状況等を考慮して削減する」「水曜日の超勤は行なわない」との方向が示されています。

「申告会場は『記載場所の提供』であり、フンポイントアドバイスする場」であり「ハイカウンタ」を活用した巡回指導中心の集合指導とのシバリがかかっています。昨年、急増した超勤について、「指導会場の状況、指導担当者的人数、内部事務の進行状況等を考慮して削減する」「水曜日の超勤は行なわない」との方向が示されています。

「申告会場は『記載場所の提供』であり、フンポイントアドバイスする場」であり「ハイカウンタ」を活用した巡回指導中心の集合指導とのシバリがかかっています。昨年、急増した超勤について、「指導会場の状況、指導担当者的人数、内部事務の進行状況等を考慮して削減する」「水曜日の超勤は行なわない」との方向が示されています。

「申告会場は『記載場所の提供』であり、フンポイントアドバイスする場」であり「ハイカウンタ」を活用した巡回指導中心の集合指導とのシバリがかかっています。昨年、急増した超勤について、「指導会場の状況、指導担当者的人数、内部事務の進行状況等を考慮して削減する」「水曜日の超勤は行なわない」との方向が示されています。

「申告会場は『記載場所の提供』であり、フンポイントアドバイスする場」であり「ハイカウンタ」を活用した巡回指導中心の集合指導とのシバリがかかっています。昨年、急増した超勤について、「指導会場の状況、指導担当者的人数、内部事務の進行状況等を考慮して削減する」「水曜日の超勤は行なわない」との方向が示されています。

「申告会場は『記載場所の提供』であり、フンポイントアドバイスする場」であり「ハイカウンタ」を活用した巡回指導中心の集合指導とのシバリがかかっています。昨年、急増した超勤について、「指導会場の状況、指導担当者的人数、内部事務の進行状況等を考慮して削減する」「水曜日の超勤は行なわない」との方向が示されています。



「時間どおり退行できない時や、昼休みが確保できない時、超勤手当は支給されているか」の問いに、「完全に支給されていない」と答えた割合は30%とあり、26%の職員から「一部しか支給されていない」、14%の職員から「サービス残業になつていて」と告発されています。

「この設問では、「その他」は、「無回答」が30%にのぼり、際立って多くなっています。当局的勤務時間管理のズサンさがこうした事態を引き起こしていることは明白です。

その時の超勤手当「完全支給」三割とまり

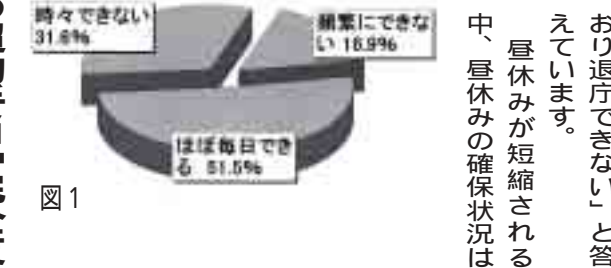
ズサンな時間管理を告発

「時間どおり退行できない時や、昼休みが確保できない時、超勤手当は支給されているか」の問いに、「完全に支給されていない」と答えた割合は30%とあり、26%の職員から「一部しか支給されていない」、14%の職員から「サービス残業になつていて」と告発されています。

「この設問では、「その他」は、「無回答」が30%にのぼり、際立って多くなっています。当局的勤務時間管理のズサンさがこうした事態を引き起こしていることは明白です。

半数が「時間通り帰れない」

「昼休み確保できない」37%に上る



「仕事と職場に関するアンケート」結果

11月頃の退行時間を聞いたところ、図1のよう

図2のとおりです。総務の31%を筆頭に、管理15%、徴収12%が「頻繁に確保できない」と答え、「ときどき、確保できない」を加えたワースト3は、総務の63%、管理の56%、徴収の41%で、資産・個人・法人でも3分の1が「確保できない」と訴えています。

詰将棋

出題 九段 西村一義
中級クラス
ヒント 馬と銀の協力で……
(10分で初段)

持駒 角

6	5	4	3	2	1
▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲

「企業の好業績がいずれ家計にも波及する」と繰り返す人が、「格差」といつなら、公務員と民間の格差は正が一番大きい」とハツ当たりした正社員を非正社員に置き換えて、パート、請負、派遣社員を正社員の半分の賃金で雇い、正社員も「成果主義賃金」で追い立てる。こうした犠牲のもとに大企業が高収益をあげてきた事実から目をそらしている。国家公務員の俸給表水準を全体として5% (中年はさらに2%カット) 引き下げたことなどは捨象し、乱暴に格差問題をばぐらかす。この人は、大企業の生産「効率」上昇を目玉にしているが、それと引き換えに賃金は抑制、貧困と格差の中で家計はさらに冷え込んでいることを正視しない。

税制・社会保障のあるべき姿に 貴重な視点 第46回税研集会

第46回税研全国集会是、「生活破壊の大増税への反響」国民本位の税財政・税務行政をめざして、を中心テーマに、2007年1月13日と14日の2日間、全国から218名の参加者により静岡県熱海市で開催されました。



初日の13日、都留文科大学・後藤道夫教授は「構造改革の現段階と対抗軸」と題し講演し、近時の諸改革で社会的規範としての日本型雇用が解体したことで、貧困層が増しその中心は「ワーキングプア」であること、諸改革の核心に「財界」があることなど分析しました。さらに、



後藤道夫教授

その対抗軸をどのように考えるか、税制と社会保障設計の抜本的改良による所得再配分機能向上、国富・財政の地域的再配分機能の再構築・地方自治の復活などについて明らかにしました。

全国税・山口調査部長は「国税の内部事務一元化をめぐる」と題し特別報告を行い、この中で国税庁が進める「一元化の目的」、現場の実態を分析し「面接や電話での税務相談を内部事務一元化担当から切り離すこと、



中村芳昭教授

と、試行だからこそ担当人員を増加する必要性」を訴えました。

分科会は税制一般、暮らしと税金、税務行政にわかれ2日間わたり実施され、税制一般分科会は、マーケットバスケット方式の課税最低限、定率減税廃止、税源移譲の問題などについて議論しました。暮らしと税金分科会は、大企業の利益に着目し消費税増税の選択肢以外があること、最低生活費やワーキングプアの実態、滞納処分の問題などについて議論しました。

「税務公務員の人事評価制度 税務における法治主義の新たな可能性」と題し講演を行い、行政における法治主義という観点から評価制度の法的意味、米国では評価制度の「あいまいさ」、抽象性は人種差別の要因となること、税務職員の評価制度について分析しました。

集会は、平和憲法体系が財界・与党・政府によりアメリカ力追従の政治により脅かされていること、国・地方の税財政、予算案は大企業のための諸改革、勤労者大衆へ負担増・痛みを強いる姿で現れたこと、税制は投資に対する「分離課税制度」温存で大企業・高額所得者・大資産家を優遇し、消費税増税が提起されていること、税務行政は国税庁が進める「内部事務一元化」十分な調査・徴収事務量を確保する「現場の状況、納税者への影響などについて明らかにしました。

初参加の国税職員は、初めて参加した国税職員は、「今までとは全く切り口の違う講演や議論の指摘がありました。非常勤職員問題について全国税は、国税の職場の非常勤職員数は五千人にものぼり、これに確実期は大量のアルバイト・派遣社員が加わり、非常勤職員の時給は東京局で八百円台となり、6時間勤務の人で最低賃金を少し上回る程度であり、何年働いても昇給はない、交通費も打ち切り支給で、有給休暇も保障されず長机にパイプ椅子で日常業務を行なっている実態など、極めて不安定な労働条件に置かれている」と訴えました。

全国税の運動で非常勤職員に年休付与を勝ち取ったのも束の間、現在の年末年始を挟んで2週間休ませ(継続勤務の中断)、年休取得要件を剥奪する取り扱いは後退している実態を告発。「世間並みに雇用保険に加入させて欲しい」との要望に、「何様のつもりだ」と雇止め(クビ)にした最新の事例も明らかにしました(全国税の追及に対し、当局は謝罪はしたものの雇用はしなかった)。

このほか、行(二)職員の劣悪な処遇問題、分限処分や降格人事などもとりあげ、懇談・要請を行い、いつその協力・共同を確認しました。



「ヒトラーの再来か? 戦犯のDNAが威張っている」

「チヨビ髭をつけてみると祖父よりヒトラーに似ている」

本質に迫る議論とは

【北海道・札幌東分会】局舎の会議の在り方について、監督評価官室報告に「本質に迫る議論がない」との厳しい指摘がある。交渉で組合が本質問題で迫っても、当局は「権限外」「管理運営事項」で逃げる。ここには交渉を形骸化し、意のままに職場を支配しようとする狙いが見える。本質論議を求めるとき代にあつて、いつまでも旧態依然の交渉スタイルにこだわる当局は時代に取り残される。本質議論をたたく合わせる団体交渉にしよう。

第33回「国税国会」 処遇問題等で議員要請



1月17日、全国税は、衆議院議員会館内で日本共産党財務金融委員の佐々木憲昭衆議院議員、大門実紀史参議院議員及び議員秘書6名と会い、国税庁の業務・システム最適化方針の問題点と私たちの要求、税務職員及び非常勤職員の処遇改善問題、「分限処分指針」に基



25日から始まる通常国会等でごうした問題を追及していただくなど、政府や国税庁当局への督促を要望しました。

佐々木議員は「安倍内閣になり、政府税調会長がスキヤンダル辞職、政治とカネの問題で不信感を募らせ、庶民増税に対する怒りも広がっている。二つの選挙でぜひ政治を変えたい」「消費税は選挙が終わった秋頃に

格差是正で問題意識共有

露したい」との決意が述べられ、「歴史ある国税国会の場で具体的な要請も聞き、実現のため奮闘したい」との意気込みも示されました。

非常勤職員の劣悪な労働条件

降にと、争点を外そうとしていますが、正面から暴れているのか、是正す

制が焦点になる国会が始まるが、格差拡大の中の税制や執行はどうあるべきか、「非正規雇用問題は民間で大問題になっているが、国や地方自治体、税務の職場ではどうなっているのか、是正す

「クレジット納付」問題についての意見交換や、



「民間と同様の非正規雇用問題は公務の場にもあり、放置されていないか」「再チャレンジと言いつつ、10年間給料が上がらない事例は公務の場にもある(佐々木議員)と

「クレジット納付」問題

【近畿・南大阪支部】

・負けてたまるか！ 助案を堪忍と読みピラをまく

総合助案の結果と言われ続けて早十年超

・本国からの叙勲

その気配もなし

浄財で他国の賞を買

い漁り

成り上がった方への

ねぎらいの大作

【東京・浅草分会】

当署の「定時退庁日のメール」の評判がいい。言われてみれば、局の定時退庁日のメールはただ出しているだけ。ヤル気も意気込みも感じられません。可哀想です。

アンケートに「副署長室も禁煙に」とあり、早速そうだったとのこと、英断？に拍手！

詠み人・薄紙五十六

【解説】

■2四角□1二

■2三桂成□同玉■3

■三馬□1二玉■1三角成

□同玉■2四銀□1二玉

■2三銀成□2一玉■2

二馬まで13手詰。

解説

■2四角□1二玉と追い、次の■2三桂成が好手順。5手目■3三馬と寄り□1二玉に■1三角成が決め手で■2四銀以下は手順の追詰